



本会は、鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観と多彩な動植物を保全するため、市民活動を実践していたメンバーが中心となり、行政との協働で立ち上げたものです。

草の勢いに負けぬよう、人も、稲も、虫たちも...



田の草取り

オモダカ(3p参照)

猛暑の中、ぐんぐん成長する豆、いも、そして草。草だらけの田んぼ、畑、土手斜面に挑み続ける人間たちは、夏バテさめやらず。いつになったら涼風が来るの？

谷戸往来1

子ども里山体験 7/26(水)

畑を耕したり、案山子を作ったり、竹で器を作ったあとは、夕飯作り。お米を研いでご飯を炊き、谷戸汁も作りました。お釜で炊いた谷戸のご飯は最高。谷戸の紙芝居のモデルかっちゃんのお話は、みんなドキドキしながら聞いていました。おばけ(?)妖怪(?)に会ったとか...



自然公園等保護基金助成金採択

枯れ木処理のための道具の購入に役立てます。

高校生ボランティア活動受け入れ 7/30(日)、8/6(日)田の草取り

草と格闘の作業でしたが、笑顔で頑張っていました。

7月の初旬に台風が来た後、8月半ばまでまったく雨が降らず、水に悩まされています。昨年以上の酷暑と晴天が続いたので苦しい夏になりました。



コシボソヤンマの産卵

谷戸の自然は、例年より早いペースで季節が進んでいるようで、セミやコオロギなどは一週間ほど早めに鳴き始めています。今年はトンボやチョウをはじめ生きものが少なめですが、タマムシが多いようで、珍しいトンボのコシボソヤンマや、美しい甲虫のハンミョウが見つかりました。



タマムシ

ハンミョウが見つかったのは数年ぶりだと思います。

●谷戸の道具置き場とヘビ

谷戸の倉庫の近くで、2m近いヘビの抜け殻が見つかりました。大きさからアオダイショウと思われます。谷戸のヘビとしては最大級の大きさです。大物のアオダイショウがいるということは谷戸の生態系がまだ豊かな証拠かもしれません。谷戸では7種のヘビが記録されていますが、よく目立つのは、1メートル以上に育つシマヘビ、アオダイショウ、ヤマカガシでしょう。ヤマカガシは黒っぽいヘビですが、よく見ると赤や黄色の模様があります。近年、ヤマカガシには毒があることがわかり、恐れられるようになりました。怒ると、コ



ハンミョウ



シマヘビ

ブラのように体を持ち上げて威嚇します。ヒバカリという、オタマジャクシを食べるヘビもよく見かけますが、小型なのであまり目立ちません。マムシは有名ですが、数が少ないヘビで、今では数年に一度見かける程度です。ヘビを見かけるのは田畑の周り、

散策路沿い、そして道具置き場など人間が利用している場所です。よく茂った草むらや湿地の奥など、いかにもヘビが出てきそうな場所にはいないのが不思議です。カエルなど里山の生きものが多い場所にヘビも集まってくるのでしょう。竹や丸太などを保管する道具置き場もヘビの隠れ家として役立っているようです。田畑の周りにある、昔ながらの道具置き場には、隙間や空間があり、昆虫も多く利用します。昭和の頃、古い木造住宅にはアオダイショウが棲みついでいて「家の主」と呼ばれていました。屋根裏や縁の下、木造の物置があったからでしょう。当会では、田畑だけでなく、その周辺の景観に配慮していますが、昔ながらの竹や丸太、ササを使ったり、伐採した木を集積してあるような景観が、里山の生きもののために役立っているのです。



アオダイショウの抜け殻

各班のお知らせ

田んぼ班

空梅雨後なお雲無く、炎帝君臨し谷戸田はひび割れ、コナギのカーペットにオモダカ花盛り…むしるむしる時速6歩の草取りを平日も皆で頑張り何とか一巡、8月初旬やっと慈雨、ほっと一息…稲出穂。


畑班

7月は雨が降らずに畑へ行くたびに心労の日々。見るのも痛々しかった作物たちが8月になると熱帯地方のようなスコール&晴れ間で元気回復。洗濯にはあいにくだが作物を見れば心は晴れ晴れ。

農芸班

無農薬小麦の茎を使って、しおりを作ります。編み目模様が美しく、手作りならではの素朴さと温かみがあります。使っているうちにつやがでてきて、愛着も増します。



 7/3 にんじんの種蒔き



 8/20 アズマネザサの刈り取り

雑木林管理班

今年は昨年と同様、昼夜通して蒸し暑い中、谷戸の草木はいつも通り元気に生長しています。谷戸の草木は暑さや多湿を味方に行っているため、それらに負けないよう、草刈りに奮闘しています。

自然遊び班

小麦の脱穀:こむぎをとるのがたのしかった。(2年) 谷戸あるき:セミのめけがらがたくさん見つけられた。(4年) 田の草取り:やこの死体があつてきもかったけど、いっぱい雑草がとれて気持ちよかった。(6年)

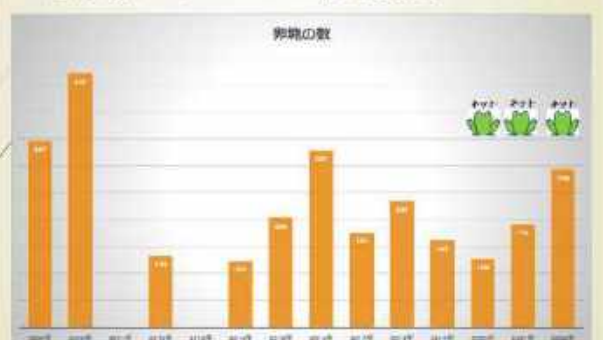
植物育成班

秋の野草の花が咲くために土手の草刈りをします。刈ることも大切ですが、刈った草を掃除して貧栄養化を維持することも必要です。草刈りより片づけの方が大変ですが、秋の野草を楽しみに頑張っています。

生態系保全班

オタマジャクシ保護ネットがそぐわないという声が聞こえてきました。オタマジャクシやカエルを見る機会が減ってきました。それを簡単なグラフにして必要性を理解してもらいたいと思っています。

生態系保全班のカエル保護活動について



谷戸の生きもの

ルリモンハナバチ ハチは見かけに・・・

幸せを呼ぶ青いハチ（ブルービー）として人気がある。その美しさとともに希少なハチと言われてもてはやされている。



山崎の谷戸では湿地周辺に多いキツネノマゴによくやってくる。“ハナバチ”とついているが花粉や蜜を集めるのではなく、他のハナバチの巣に卵を産み、幼虫はその巣の花粉を横取りして育つ（労働寄生という）。それを知っている私はいつも一歩引いた目で見てしまう。イケメンだけど実は“ヒモ男”という感じに近いかな。

（たのくろまめお）



キマワリ 人は見かけに・・・

長い足でよく木の周りを歩いているからキマワリ（木廻）。ただしこれがいるのは枯れ木。倒木や薪にも集まる。昔カブトムシやクワガタを探して雑木林に入るとよく出会った。これがいたらその木はダメという目安になった。何年前か、テニスをしていた時に突然私の



体へ飛んできたことがあった。「ウソだろ!」「冗談でしょ!」、世の中何が起こるか分からないではすまされない出来事だった。「俺は枯れ木じゃない!」10歳年上の対戦相手のほうへ追いやろうとしたがダメだった。枯れ過ぎより枯れ始めがいいのかな・・・。

（たのくろまめお）



谷戸往来2

鶴岡八幡宮 鶴の子会 林間学校プログラム講座 8/21(月)

正月飾りの藁を毎年提供している会からの要請で、小学1年から6年まで43人が参加しました。子どもたちは鎌倉の自然、谷戸の生きものの様子などの話しを聞いたあと、谷戸で集めた400個のセミの抜け殻を種類別に分ける作業に大盛り上がりでした。



教員補助作業 8/29(火)

深沢小、富士塚小、教育支援教室ひだまりから、総勢30名もの教員が訪れ、体験学習の田んぼや水路が一気にきれいになりました。楽しく懇談会もできました。



保育士研修講座 9/2(土)

コロナ禍のため4年ぶりに行われました。鎌倉市の公・私立保育園から8名の保育士が鎌を手に汗をかきました。

体験学習

深小5年 田の草取り 7/4

★すごくいねが育っていて成長が早いなと思いました。草は少しはえていて、いねにている葉はいねと見分けずらかったです。

★田んぼの中には草よりいろんな虫がたくさんいました。いちばん印象深いのはクモです。ぼくが見ただけでも5種類いました。



★田んぼは角のほうは冷たいけど、まん中のほうは温かった。

★谷戸へ行ったら草がいっぱいあって、イネもせいちょうして、谷戸の土はえいようがあるとしました。

★虫よけスプレーが臭かった。そして虫の気持ちがよく分かった。そして、虫よけはお米にもえいしょうしてると思った。



富士塚小5年 田の草取り 7/6

★草のまわりの雑草(セリなど)をとった。この畑の中に入るとセリは雑草になってしまう。ぼくの所にはくさがまったくなく、ちょっとざんねんだった。どろの中に入るとすずしく、スポッとめけた時はきもちいい。ホタルの話も勉強になった。



★つかれましたが、どうにかやりきりました。草とりといってもかきまぜるだけでしたが、新しい感覚で面白かったです。

★6月14日に田植えをした時よりも稲がのびてて、稲の成長って思ったよりは早いと思いました。



★イネのまわりを回すようにかきまぜました。そして終わりぎわに「ハイケボタルのハイちゃん」と言う物語をよんでくれました。ハイちゃんたちの一生はあらためて大変だなあとしました。そして注意に、スマホのえきしょうでよってきってしまうというのを初めてしりました。

教育支援教室ひだまり 小麦脱穀 7/5

★まず最初に穂から麦を取る作業を、足踏み脱穀機を使って行いました。麦を引っ掛けて取る回る部分を動かし始めるのが、タイミングを見計らうのが難しく時間がかかりましたが、麦が取れた時はとても達成感がありました！ (中2)

★特に印象に残っているのは、足踏み脱穀機を踏む時のタイミングの難しさで、自分はあまり上手にできず悔しかった。(中3)

★でも私は脱穀の後の手作業が好きです。あの緑に囲まれて無心に作業できる時間がたまりません。もう私は手作業をマスターしたと思っています。(中3)

★普段経験出来ない脱穀を体験でき、小さなころからおじいちゃんにお米は一粒も残さないようにと教えられていて残さず食べていたのですが、体験してみてちゃんと残さず食べることの大切さをもっと感じられるいい体験でした。(中3)

9月

- 2日(土) 田 すがい作り
保育士研修講座
- 3日(日) 田 すがい作り ☆
雑刈払い機で草刈り ❀
講座「谷戸の植物観察」 ☆
- 4日(月) 畑 大根の種蒔き ❀
- 6日(水) 農 麦わら細工(しおり作り) ❀
- 9日(土) 生 虫の音を聞く ❀
- 10日(日) 田 はさ作り(田んぼ横) ❀
畑 草取り、草刈り ☆
- 13日(水) 秋の野草観察 ❀
- 17日(日) 田 はさ作り(もめんばたけ奥) ☆
- 20日(水) 畑 大根の間引き、長ねぎの土寄せ
生 秋のチョウと鳥観察
- 24日(日) 田 稲刈り準備、畔の草刈り
- 25日(月) 畑 かぶ・冬菜の種蒔き ❀

10月

- 1日(日) 田 稲刈り
- 4日(水) 植 湿地の花畑観察 ❀
- 7日(土) 田 稲刈り
生 虫の音を聞く ❀
- 8日(日) 田 稲刈り ❀
- 11日(水) 生 秋のカヤネズミ調査
- 14日(土) 田 稲刈り ☆
- 15日(日) 田 田んぼ周り道具の片付け、溝切り
雑 雑木林を歩いて調査 ❀ ☆
自 こども里山一日体験「さつまいも掘り」 ▶
- 18日(水) 畑 さつまいも掘り ☆
農 小麦選別・製粉(製粉機) ❀
植 カナムグラの除去作業
- 21日(土) 田 脱穀
- 22日(日) 田 脱穀 ☆
畑 大根の間引き、草取り ❀
雑 雑木林の下草刈り ❀
自 里山探検隊「秋の谷戸しごと」
- 23日(月) 畑 絹さやの種蒔き ❀
- 29日(日) 田 脱穀(予備)、粃干し、畔直し
雑 雑木林の下草刈り ☆
青空自主保育なかよし会保全活動
- 30日(月) 畑 たのくろ豆の収穫・吊るし干し ☆

11月

- 3日(金・祝) 田 粃干し、粃すり、畔直し
子育て懇談会主催
「さといもとどろんこ」
- 5日(日) 田 粃すり、精米、わら切り
雑 雑木林の除間伐
自 里山探検隊
「冬の谷戸しごと」
- 8日(水) 畑 落花生の収穫
生 晩秋のチョウと鳥観察
- 11日(土) 田 粃すり、精米
- 12日(日) 田 粃すり、精米、わら切り ❀
雑 雑木林の除間伐 ❀
- 13日(月) 畑 さといも掘り・洞入れ ❀
- 15日(水) 農 たのくろ豆殻出し・選別 ❀
植 晩秋の植物観察 ❀
- 19日(日) 田 粃すり、精米、溝切り ☆
雑 雑木林の除間伐
- 20日(月) 畑 さつまいもの洞入れ
- 26日(日) 秋の谷戸まつり

☆ 谷戸塾 ❀ 里山一日体験
各班活動 農家風休憩舎 9:30 集合
(農芸班、自然遊び班は、10時~)
虫の音を聞く
18:30 山崎口しいし前集合 20:30 頃まで
▶ 会員以外の方 参加費 500円/組



田：田んぼ班 畑：畑班 雑：雑木林管理班
農：農芸班 自：自然遊び班
生：生態系保全班 植：植物育成班

〒247-0066 鎌倉市山崎 1667 鎌倉中央公園管理事務所内

TEL/FAX 0467-47-1164 木曜を除く 10時~16時

ホームページ: <https://yato-yamasaki.sakura.ne.jp>

Eメールアドレス: ya-yato@arrow.ocn.ne.jp

- 次号(会報118号)は、2023年11月に発行予定
- 会費 郵便振替口座番号 00270-6-115647